

表1:「鈴だるま」最適作型における生育特性

品種名	収穫(月/日)	生育日数(日)	主茎長(cm)	主茎節数	分枝数	最下着莢節位高(cm)	総莢数(個/株)	2・3粒莢率(g/株)	2・3粒莢重(g/株)	2粒莢率(莢重比)	2粒莢(莢長mm)	2粒莢(cm)
鈴だるま	8/3	73	41.2	11.2	5.8	9.8	108.8	183.0	82%	11.2	54.9	
初だるま	8/1	71	34.8	9.8	5.0	6.6	69.6	124.0	86%	11.8	50.5	

2023年5月22日播種(くにさだ育種農場)

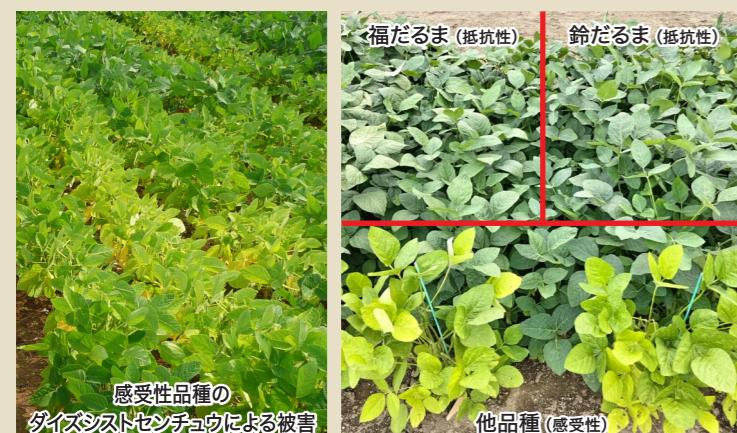
表2:「鈴だるま」高温期収穫作型における莢収量及び秀品率

品種名	1粒莢(個/株)	2粒莢(個/株)	3粒莢(個/株)	欠粒(個/株)	その他*(個/株)	総莢数(個/株)	総莢重(g/株)	2・3粒莢率(g/株)	2・3粒莢重(g/株)	2粒莢率(莢重比)
鈴だるま	7.0	41.0	27.7	5.0	11.7	92.3	247.3	218.3	88%	
他品種	3.7	16.0	5.7	21.7	48.7	95.7	185.7	70.7	38%	

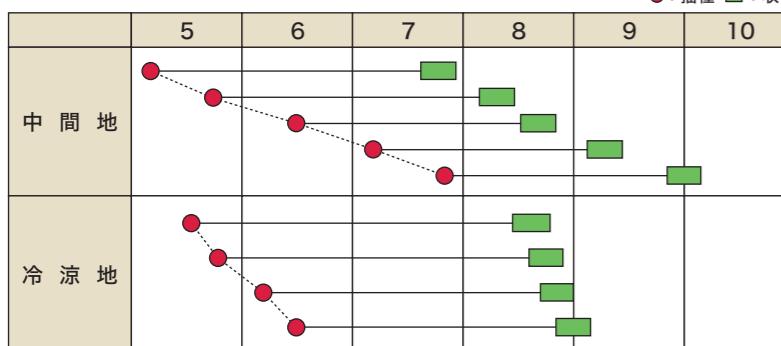
2023年6月8日播種、同年8月17日調査(くにさだ育種農場)  
※空莢、未熟莢、奇形莢の合計

8月中旬収穫での子実充実程度の比較

線虫による被害の様子



作型表



とで10月上旬収穫の露地抑制まで幅広い作型に適応します。

【播種】

過度の早まきでは過繁茂や倒伏による収量・品質低下が起こりやすいので、適期播種を心掛けてください。

また、出芽をそろえるために、適温・適湿下での播種に努めます。特に高温期のマルチ直播栽培では地温抑制タイプのマルチを使用してください。

乾燥種子が急激に吸水すると、種子組織が物理的に破壊され、出芽及びその後の生育に悪影響を及ぼす恐れがあるので、播種直後の過剰灌水や降雨による吸水障害に注意します。

【施肥】

一般的な中生品種に準じますが、前半作型やマルチ栽培では生育が旺盛となりやすいので生育初期の窒素は控えめとし、着莢から莢肥大期に

効くよう緩効性肥料の元肥施用や追肥により肥効を調節します。

● 露地マルチ、露地栽培に最適な夏どり用中生品種です。

● レギュラーながら風味豊かで甘み

【栽培様式】

露地栽培では60000~70000株/10aを目安に株間を20~25cm程度とし、肥沃度の低い圃場や遅まきでは株間を狭くします。

【防除】

高温期は葉食害虫の他、莢害虫も増加しますので計画的な防除に努めます。

【収穫】

開花後35~40日程度で収穫となりますが、莢の肥大状況をよく確認して適期収穫に努めます。

当社ではこれまでに『低温着莢性』を強みとしたレギュラー品種「福だるま」「初だるま」を発表し、早出し作型における作柄安定を図つてまいりました。一方で、猛暑日の連続や長

期間にわたる乾燥の影響で夏のエダマメが作りにくくなつたと言われるあります。今回、高温下でも着莢が安定する夏どり用品種で、多収だけではなく、優れた莢品質と食味を併せ持つた『だるまシリーズ』のニューフェイ

ス「鈴だるま」をご紹介いたします。

● 露地マルチ、露地栽培に最適な夏どり用中生品種です。

● 露地栽培で最も多収性を発揮します。



## 品種紹介

まさに鈴なり！高温下でも着莢安定、  
莢品質・食味ともに優れる中生レギュラー

(カネコ育成)  
エダマメ

# 鈴だるま

品種登録出願中(出願名 KAE-006)  
海外持出禁止(公示農林水産省HP)参照

カネコ種苗株  
くにさだ育種農場  
安田 拓史

の強い良食味品種です。

● 高温下でも着莢良好で、多粒莢率の高い多収品種です。

● ダイスシストセンチュウレース3に抵抗性を有します。

● 莢は白毛・濃緑色の大莢で品質に優れます。



### 栽培ポイント

#### 【作型】

冷涼地 8月中旬~下旬収穫、中間地

8月上旬~中旬収穫の露地マルチ・露地栽培で最も多収性を発揮します。

地栽培では草勢が強くなる傾向があるので、低地力圃場や露地栽培など草勢を抑える栽培を、より遅い作型では草勢がおとなしくなる傾向があるので、高地力圃場やマルチ栽培など草勢を強める栽培とするこ